

整備スケジュール

PPP/PFI 手法導入可能性調査から工事完了までのスケジュールの想定は下記のとおりです。

(従来型手法)

項目	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
PPP/PFI 関連	可能性調査				
設計・監理		設計	工事監理		
工事			工事		

(PPP/PFI 手法)

項目	平成30年度 (2018年度)	平成31年度 (2019年度)	平成32年度 (2020年度)	平成33年度 (2021年度)	平成34年度 (2022年度)
PPP/PFI 関連	可能性調査	実施方針・要求水準等			
設計・監理・工事			設計・工事監理・工事		

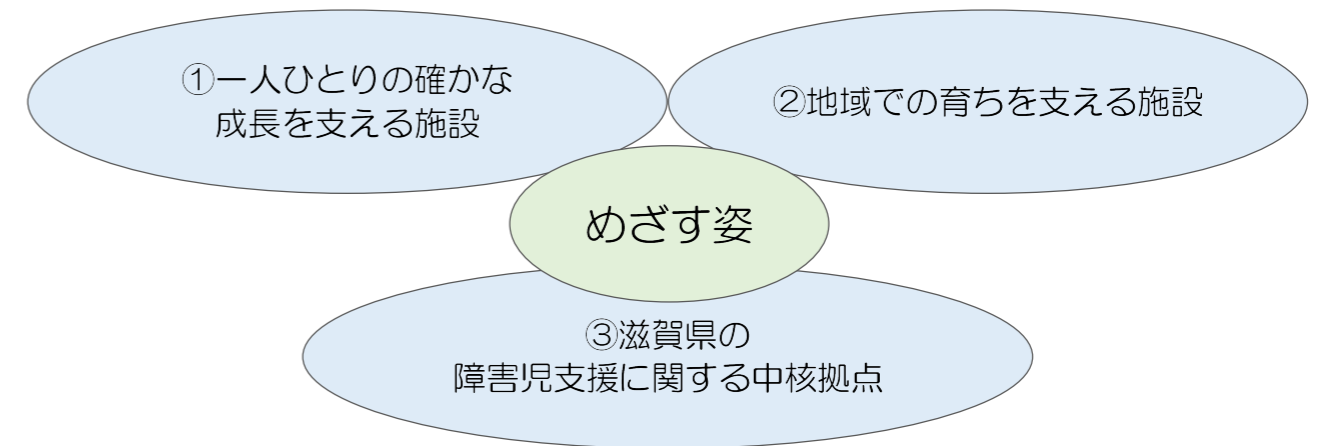
滋賀県立近江学園整備基本計画 (案) 【概要版】

基本方針 (使命)

「障害のある子どもの地域生活の実現」

卒園後の地域生活を見据えた入所支援、地域の子どもが自分らしく地域生活を継続するために必要な支援を行い、障害のある子どもの地域生活の実現に向けて取組を進めます。

めざす姿



①一人ひとりの確かな成長を支える施設

- ・重度・重複障害、行動障害、発達障害等の多様な状態像の子ども一人ひとりの成長に必要な支援を行い、QOL (quality of life: 生活の質) の向上を図ります。

②地域での育ちを支える施設

- ・短期入所等による家族への支援や、行動障害の軽減や地域の支援体制の整備など一定の目的を持った有期有目的入所による地域生活の継続に必要な支援を行い、地域における子育て・親育ちを支えます。

③滋賀県の障害児支援に関する中核拠点

- ・地域生活の継続が困難になった重度・重複障害や強度行動障害等のある子どもをいつでも受け入れ、本県におけるセーフティネットとしての役割を担うとともに、関係機関への支援など本県の障害児支援における中核的役割を担います。

概算事業費

本計画に基づく整備にかかる概算事業費は、約40.3億円と見込まれます。

なお、労務単価・物価の上昇等により工事の入札が成立しない事例も多く見受けられるため、今後のオリンピック等の社会情勢も見据えながら設計段階において精査します。

項目	内容	概算事業費
1. 設計・監理費	基本設計、実施設計、工事監理等	約 1.9 億円
2. 土木関連工事費	測量、地質調査、環境調査、造成等	約 2.6 億円
3. 建設工事費	施設本体、駐車場、外構等	約 33.1 億円
4. 什器備品等整備費	什器、備品、家電等	約 0.5 億円
5. 解体費	既存施設解体	約 2.2 億円
合計		約 40.3 億円

事業手法の検討

「滋賀県 PPP/PFI 手法導入優先的検討方針」において定められている PPP/PFI 手法導入の検討を行う対象事業となるため、事業の期間、特性、規模等を踏まえ、品質確保に留意しつつ、最も適切な PPP/PFI 手法として、本事業では「BTO 方式」および「BT 方式」を選択し、PPP/PFI 手法導入の検討を行いました。

自ら整備を行う従来型手法による場合と、上記で選択した採用手法を導入した場合との間で費用等の総額を比較し、採用手法導入の検討を行ったところ、定量的には採用手法の導入に適すると評価することができます。このため、さらに詳細な費用等の検証を行い、最も適切な手法を選択します。